

2025年2月19日

各位

会社名 株式会社 坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
(コード番号：4890 東証グロース市場)
問合せ先 企画管理本部マネージャー 木下 淳
(TEL 03-6384-2866)

坪田ラボ共同研究 TLG-005D の研究結果

論文掲載に関するお知らせ

坪田ラボ(代表:坪田一男 慶應義塾大学名誉教授)と慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 野田賀大先生等と実施した共同研究「うつ病」に対する TLG-005D(うつ病を対象とした TLG-005)の研究結果が国際学術誌に掲載されましたのでお知らせいたします。

タイトル: Violet light photobiomodulation therapy for depression: A double-blind randomized crossover trial

著者名: 野田賀大 谷口敬太 高野万由子 三村悠 柳澤尚武 早野元詞 北畑亮輔
小川葉子 三村将 坪田一男

雑誌名: Journal of Affective Disorders

URL: <https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S016503272500237X>

【研究の概要】

本研究は、軽度うつ病患者を対象に、バイオレットライトを照射するメガネ型機器の抗うつ効果を検証するため、ランダム化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験を世界で初めて実施しました。その結果、バイオレットライト照射メガネを4週間装着した群では、うつ症状の指標である Montgomery-Åsberg Depression Rating Scale (MADRS) のスコアが有意に改善しプラセボ群に比べて優れた抗うつ効果が確認されました。さらに、メガネの装着による副作用は報告されず、安全性も確認されました。

【本研究の意義と今後の展望】

坪田ラボは、バイオレットライトを用いた革新的な治療法の研究を進めています。バイオレットライトは、太陽光に含まれる波長 360~400nm の紫色の可視光で、近視の進行抑制や脳機能への望ましい影響が期待されています。本研究の成果は、バイオレットライト照射が軽度うつ病の新たな治療法となる可能性を示唆しています。今後さらなる研究開発と事業開発を進めてまいります。

弊社では、光と健康の関係を明らかにし、その研究に基づく知見を基に革新的な医療技術の開発を推進しています。こうした技術による新たな治療オプションを提供することで、世界中の患者の健康向上に貢献してまいります。

以上